



女子チーム14位、大健闘でした！ ～県駅伝競走大会～

7日（水）、いわき21世紀の森スポーツ公園において、第63回福島県中学校駅伝競走大会が開催され、本校特設駅伝部女子チームが出場しました。惜しくも入賞こそ逃しましたが、昨年の順位を上回り、14位に。今までの努力が形になって表れた、大きな大きな結果だと思います。選手・サポートの皆さん、本当によく頑張りましたね。お疲れ様でした。

顧問の真部先生も「トラックで行った予選会のタイムを上回ったことには、正直驚きました。コースでのタイムは、トラックより下がるのが普通です。選手一人ひとりが力を出し切った証拠だと思います。今までにない感動的な走りを見せてもらえました。」と絶賛していました。今後、また新たな伝統を築いてくれることを期待しています。



思いやりの心で結ばれる学校づくりを ～ 白河市思いやり条例 ～

7日（水）、白河市が定めた「思いやり条例」が施行されました。この条例は、新型コロナウイルスの感染者や家族、医療従事者の人権を守り、市民一人ひとりが思いやりの心を持ち、互いに支え合う住みよい地域社会を実現することを目指しています。この条例の趣旨を正しく理解するため、今週の全校朝会で以下のようなお話し（抜粋）をしました。ご家庭でも是非話題にしていいただければ幸いです。

白河市では、県内の他の市町村に先駆けてこの条例を制定し、いよいよ7日スタートさせることになりました。この条例は、新型コロナウイルスに対する正しい知識の普及などを通じて差別や偏見をなくすことを目指したものです。

具体的には、「新型コロナをはじめ疾病、障害、性別などを理由とした誹謗・中傷や、偏見に基づく差別的な言動をなくし、互いに支え合う住みよい地域社会の実現を目指す。」となっています。

そのために市民に対しては「一人ひとりが思いやりの心をもって差別などをしないよう努めるとともに、市などの施策への協力を求めること」となっています。

この条例には罰則はありません。それはある意味、市民一人一人の善意や良心、自覚に強い期待を込めていることの表れだと思えます。

以前、朝会で「万が一、自分や自分の身近な人がコロナに感染したらどう思うか」という話をしたのを覚えていますか？

大切なことは「もし自分が同じことをされたらどう感じるだろうか」と、他人と自分を置き換えて想像できるかどうかです。条例でいっている「思いやり」とは、「想像力」です。

この条例をコロナ対策だけのものと思わず、日常の生活の様々な場面で互いに思いやりという温かい心で結ばれる学校をつくっていきましょう。



お願い

各クラスとも、文化祭に向けて合唱練習に真剣に取り組んでいます。授業はもちろん、放課後や朝の練習にも熱が入ってきました。ご家庭でも是非話題にいただき、子どもたちへの温かい励ましをお願いいたします。



＜次週の予定＞

日 曜	主 な 行 事
12 月	全校朝会
13 火	合唱リハーサル（1年）
14 水	B日課 合唱リハーサル（2年） 職員会議 清掃・部活動なし ※一斉下校 14:30
15 木	実力テスト（3年） 文化祭準備
16 金	B日課 合唱リハーサル（3年） 文化祭準備

◇◇ 今週の言葉 ◇◇

みんなで一つのことをやり遂げる。
みんなで一つのことを創りあげる。
このことの意味や価値を知るために、
ぼくらは「みんな」で生活しているんだよ。

～ みんなの力で、紅葉祭を大成功させよう！ ～

